

田迎西小学校が開校しました!

平成 25 年 4 月に田迎小学校の分離新設校として、93 校目の小学校、『田迎西小学校』が開校しました。本市に小学校が開校したのは、平成 10 年 4 月に開校した桜木東小学校以来 15 年ぶりとなります。

【校訓】 まごころをつくし 清らかに 伸びやかに 健やかに





校 章

田迎西小学校は、約22,000㎡の敷地内に4階建ての校舎や体育館、180席のランチルームを備えた給食室等が整備されています。校舎の床や壁には、県産材であるスギやヒノキを使用し、屋上には太陽光発電システムを設置、運動場周辺や中庭には芝を張るなど、環境に配慮した小学校となっています。

今後、田迎の歴史と伝統を受け継ぐとともに、教職員・子ども・保護者・地域等が一体となり、魅力と活力あふれる学校づくりを目指していきます。



<問い合わせ先>教育政策課 TEL 328-2703

Check! ●●●教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見ることができます●●●

お問合せ先 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育政策課

TEL 328-2703 FAX 359-6951 e-mail:kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp

アドレス http://www.city.kumamoto.jp/ (トップ→学び・観光・スポーツ→教育・学校→教育広報誌「with you」)

▶夏休み「学校プール開放事業」が始まります!

子どもたちが楽しみにしている夏休み学校プール開放事業を、今年度から熊本市教育委員会と各PTA及び 学校で構成するプール開放運営委員会の主催のもと開催します。

安全・安心のプール開放に向けて

- 運営マニュアル及び監視マニュアルを事前に作 成し計画的に運営します。
- ・保護者運営リーダー1人、保護者監視員4人以 上、専属監視員2人以上を配置し、監視体制を 整備します。(保護者監視員の人数については、 小規模校等の特例があります。)
- 学年による遊泳場所や遊泳人数による制限など を各学校で計画します。



安全で楽しいプール開 放ができるよう保護者 の皆様のご理解とご協 力をお願いします。

プール開放の実施



プールの運営・監視体制

保護者運営リーダー+保護者監視員の配置 + 専属監視員の配置



プールの運営・監視体制

- ◆プール開放運営委員会:**主催**:◆熊本市教育委員会 (PTA·学校)
 - 運営・監視マニュアル の整備
- ・監視員等の配置
- 研修会の開催 等
- 負担金の支出
- 「運営・監視マニュアル」 作成の手引き」の作成
- 研修会の開催 等

<問い合わせ先>健康教育課 TEL 328-2728

▶給食費の改定について検討しています!

本市の学校給食について総合的に検討するために、 昨年度、外部有識者等からなる「熊本市学校給食運営検 討委員会 を設置しました。今年3月に提出された報告 書の中で、給食費については平成12年度から13年間改 定がなく(1食あたり小学校210円・中学校260円)、栄 養価の維持や安心安全な食材調達のためには、それに 見合った価格への改定はやむを得ない等の報告があり ました。

この報告を受け、現在、熊本市教育委員会で改定につ いての検討を行っておりますので、どうぞご理解とご 協力をお願いします。

平成13年度からの主な食材価格上昇率

• 主な野菜類 139.1%

114.8% • # 肉

• 鶏 卵 121.5%

•油 脂 175.4% 類



<問い合わせ先>健康教育課 TEL 328-2728

▶楽しかったね!長なわとびフェスタ

昨年の11月から今年の2月にかけて、体力向上を目的に「第1回熊本市わくわくチャレンジ長なわとびフェ スタ」を開催し、多くの学校が参加しました。学級単位で3分間の「8の字跳び」を行い、「目標達成」か「ランキン グ」かのどちらかのチャレンジ方法を選択し、記録を競い合いました。本年度も引き続き開催します。

※平成24年度の優秀学校賞及びランキングチャレンジ賞は次のとおりです。

◆優秀学校賞(総合平均回数)

最優秀校	楡木小	(309 🗆)		
優秀校	本荘小	(258 🗆)	高橋小	(226 🗆)
	田原小	(221 🗆)	古町小	$(217 \Box)$

◆部門別ランキングチャレンジ1位チーム

1年生の部	帯山西小(246回)	5 年生の部	帯山西小(413回)
2年生の部	楡木小(334回)	6 年生の部	楡 木 小(436回)
3年生の部	帯山西小(470回)	特別支援学級の部	出水南小(205回)
4年生の部	楡木小(422回)	複数学級合同の部	白浜分校(279回)

<問い合わせ先>健康教育課 TEL 328-2728

| **道徳教育総合支援事業** ~道徳教育を一層充実します!~

本市は、平成24年度から文部科学省の「道徳教育総合支援事業」の指定を受け、道徳教育の充実に努め ています。学校(園)、家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら道徳教育を進めていくために、次の 事業に取り組んでいます。

学校(園)、家庭・地域社会が一体となった道徳教育の推進

教

児童・生徒

「来て来て先輩」の活用

「道徳教育推進の

師

「道徳教育啓発 パンフレット の作成

保護者・地域

各分野の著名な郷土出身 者を講師に招き、生き方に触 れ、夢を語り合う授業を行い ます。本年度は、郷土のオリン

ピック元代表選 手やアーティス トを予定してい ます。

教師が道徳教育に、より理 解を深めながら授業改善に取 り組むことができるよう手引 書を作成します。

手引き|の作成

子どもの発達段階におけ る大人のかかわり方について、 「家庭・地域におけるワンポ イントアドバイス」を載せた パンフレッ

トを作成し ます。



<問い合わせ先>指導課 TEL 328-2721

▶学力向上支援員派遣事業

~算数の学力向上の支援を行います!~

小学生の算数の基礎学力をつけるため、「学力向上支援員」を学校に派遣します。

本年度は、退職した校長3名が支援員として、小学校16校の3・4年生の算数の授業に参加し、児童一人 ひとりを支援していきます。

- ◆算数の授業で、わからない問題があったら、子どもたちにヒントを出したり、考え方を教えたりします。
- ◆算数のテストでできなかった問題を、授業中や放課 後に、子どもと一緒に考えます。
- ◆算数の上手な勉強のやり方を、子どもたちにアドバ イスします。
- ◆算数の授業がよりよくなるように、教師にアドバイ スをします。



<問い合わせ先>指導課 TEL 328-2721

全国的に問題となり、各自治体で緊急に対策が求められている学校内の「いじめ」や「体罰」について、本市でも次のような取り組みを実施します。子どもたちが安心して通うことができ、保護者が安心して送り出すことのできる、いじめや体罰のない学校づくりを目指します。

●6月は「いじめ根絶強化月間」です!

日頃から各学校では、様々な機会をとらえて、いじめ根絶に向けた取り組みを行っていますが、6月の「いじめ根絶強化月間」では、『「いじめは絶対にゆるさない」 見直そう そして 分かり合おう』をテーマに各学校で様々な取り組みを実施します。保護者や地域の皆様も『いじめは絶対にゆるさない』という視点で、子どもたちを見守り、あたたかい声かけをお願いします。

いじめのサインを見逃さない ~ 早期発見・早期対応 ~

- ◆学校独自の「きずなアンケート」を実施する。(毎月1回の実施を学校にお願いしています。)
- ◆教職員全員が授業、休み時間、放課後等のあらゆる場面で子どもを見守り、子どもから相談しやすい環境をつくる。
- ◆「報告·連絡·相談(ほう·れん·そう)」や役割分担等、いじめへの迅速な初期対応に向けた体制の確認を行う。

いじめが起こりにくい集団をつくる ~ 未然防止~

- ◆人としての生き方について自覚を高める校長講話等を実施する。
- ◆「いじめを絶対に許さない」「相手を思いやる」等の心情を育てる授業を実施する。
- ◆いじめ根絶のポスター等を作成し、掲示する。

いじめを許さない環境をつくる ~ 家庭・地域・関係機関等との連携 ~

- ◆学校便り、学級通信等で、いじめ根絶に関する啓発や取り組みを紹介する。
- ◆いじめ根絶に関する講演会や研修会等を実施する。
- ◆保護者や地域と連携して、いじめを許さない環境づくりを行う。



<問い合わせ先>総合支援課 TEL 328-2743

●体罰のない学校づくりに向けて

今回の文部科学省の通知に基づいて実施したアンケート結果(第2次報告分)では、本市の体罰件数は33件(小学校16件、中学校15件、高等学校2件)もありました。

体罰は、児童・生徒の心身に深刻な悪影響を与えることを念頭に、体罰のない、体罰を決して許さない、児童・生徒が安心して元気に明るく過ごすことのできる学校づくりに向け、熊本市教育委員会と学校が連携し、次のような再発防止策に取り組んでいきます。

体罰が起こらない学校組織体制を整備する

- ◆「体罰は、教育効果が薄く、子どもの心に恐怖心をうえつけて、強制的に従わせるものであること」を教員に 徹底して指導する。
- ◆校長を中心に、教職員の体罰にかかる認識を再度徹底させ、いかなる場合も容認することのない環境をつくる。
- ◆指導困難な場合は、複数指導体制をとる等の組織的な対応を行い、日常的に体罰を防止できる体制づくり を整える。

体罰防止に向けて研修の改善・充実を図る

- ◆研修を実施し、体罰の正しい認識や適切な指導のあり方等について再度確認する 機会を設ける。
- ◆これまでの資料を活用した研修に加えて、体罰の事案を類型化し、「体罰によらない指導」の研修を実施する。
- ◆実際の指導の場面を想定してロールプレイを行うなど、より実践的な研修を実施する。

<問い合わせ先>教職員課 TEL 328-2720

●熊本市学校規模適正化検討委員会より報告書が 提出されました。

本市において、過大規模校や過小規模校、それぞれの学校が存在していることから、子どもたちの良好な教育環境を確保するため、それらの課題を検証し、「学校規模適正化」に取り組むこととしました。

今後は、報告書をもとに保護者、地域住民、関係団体等の意見を伺いながら、学校規模適正化計画を策定し、学校規模の適正化 に向けた取り組みを進めます。



報告書概要

●適正規模の基本的な考え方

小中学校における適正規模

12 学級~ 24 学級

小学校(1学年:2学級~4学級) 中学校(1学年:4学級~8学級)

- 多くの友人等と多様な人間関係を構築できる。
- 全ての学年でクラス替えができる。など

●適正配置の基本的な考え方(方策)

1.大規模校(25学級以上)の対応

通学区域の見直しや緩衝地区の設定等、弾力的に取り組んでいくことが必要である。

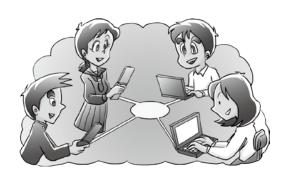
2.小規模校(11学級以下)の対応

規模の小さい学校は、統廃合を基本として考える必要がある。

※詳細はホームページをご覧ください。(熊本市ホームページ トップ>学び・観光・スポーツ>教育・学校)

<問い合わせ先>学務課 TEL 328-2716

●子どもへの情報モラル啓発について



今の子どもたちは、携帯電話やパソコンだけではなく、スマートフォンやゲーム機などの様々な情報機器に囲まれて生活しています。しかし、生活が便利になる一方で、予想もしないトラブルが生じたり、犯罪に巻き込まれたりする危険性も高くなってきています。情報を正しく扱うための基本となる考え方や態度を「情報モラル」といい、そのための教育が求められます。

そこで、熊本市教育センターでは、学校だけではなく家庭・地域との連携を図りつつ、子どもたちに情報モラルを身につけさせることを目的として、本年度も保護者を対象に社会教育講座を開催しま

す。熊本県警察本部の担当者を講師として、熊本県内で起こっている携帯電話やネット掲示板などに関する犯罪やトラブルの具体的な事例や防止策についての講話を予定しております。子どもたちの安全を守るためにも、この機会に参加してみませんか。

社会教育講座『ネットトラブルから子どもを救う』

期 日 平成25年6月17日(月)

時 間 10:00~12:00

対象者 熊本市内の小・中・高等学校に子どもを通わせている 保護者

会場に熊本市教育センター(熊本市中央区千葉城町)

申し込み 熊本市教育センターまで電話でお問い合わせください。

※教育センター駐車場の利用はできません。また、お子様の同伴はご遠慮ください。



昨年度の講座の様子

『特色ある学校の取り組み』の紹介

熊本市立小中学校では、日頃から特色ある学校づくりに向けて、様々な教育活動に取り組んでいます。 このコーナーでは、毎回、各テーマに沿って、各学校が実施している「特色ある取り組み」を紹介していきます。 各校の先生と子どもたちのイキイキとした姿をどうぞ見守り、ご支援をよろしくお願いします。

『防災教育』~災害から自分の身を守る!~ 【河内小学校(西区)】



机等の身を隠すものがない所にいる時に地震が起きたら、どんな姿勢を取ったらいいでしょうか?

- ①「気をつけ」の姿勢で立つ
- ②体育座りをする
- ③しゃがんで体を丸める
- 4)自分の体を盾にして友だちを守る

これは、4月に行った河内小の防災集会で、6年生がアイデアを考え、1年生のために出してくれたクイズです。答えは「③」でした。体を丸くして頭部を守る姿勢を、河内小では『ダンゴ虫のポーズ』と呼んでいます。

地震や津波等の自然災害に備えて、河内小では毎月、ショート訓練を行っています。緊急地震速報が鳴ったら、上から物が「落ちてこない」、「倒れてこない」場所へ速やかに移動したり、机の下に隠れて机の脚をつかんだり、(身を隠すものがない時は)ダンゴ虫のポーズをとったりします。

いつ訓練用の警報が鳴るか分からないので、児童は日頃から校内の安全な場所を見つけておかなくてはいけません。

河内小学校では、今後も河内中学校や地域、関係機関と連携しながら、防災研修会や津波避難訓練を実施していく予定です。



防災集会・全校児童で「ダンゴ虫のポーズ」

休日には市立図書館へ♪

市立図書館では、たくさんの子ども向けイベントを開催しています。今後も土日や夏休み、秋の読書週間などには、楽しいイベントを計画しています。市立図書館のホームページで最新情報をチェックして、休日には市立図書館に遊びに来てくださいね。

【今後の予定(参加無料)】 ○子ども映画会

(概ね毎月第2土曜日)

- ○小学生向けおはなし会 (毎月第2·4土曜日)
- ○語りのおはなし会(毎月第4土曜日)



子ども映画会は2階ホールで上映します

<問い合わせ先>熊本市立図書館 TEL 363-4522

熊本博物館からのお知らせ★

熊本博物館は、平成25年4月1日よりリニューアルエ事のため休館としています。ただし、平成25年6月30日までは、プラネタリウムの投映のみ平常どおり実施しています。

また、例年、熊本博物館で開催していた「子ども科学・ものづくり教室」については、平成25年度は、塚原歴史 民俗資料館(南区城南町)で実施します。詳細は、市政だより等でご案内しますので、ご迷惑をお掛けしますが、ご参加をよろしくお願いします。

<問い合わせ先>熊本博物館 TEL 324-3500

教育委員のひろば

3

熊本市教育委員会委員長 崎元 達郎

私は、子どもから高齢者に至るまで、 一人ひとりの学びに対する真摯な姿勢 を支援することが教育に課せられた基 本的な役割であり、特に、子どもたちに

対しては、私たち大人が、心から子どもたちの健やかな成長を願い、教え、育て、一人ひとりの能力や才能を引き出していくことが教育の根幹であると考えています。

そこで、教育委員会は、次の3点の取り組みを重点的に進めていきます。

- ①教育委員会の役割や仕事について市民の皆様に御理解いただくために、ホームページの改善など広報活動を推進します。
- ②教育委員と教育委員会事務局との間に、一定の緊張 感のある関係を保ちながら、委員自らが積極的に教 育施策の立案に関与します。
- ③昨年度から実施しているスクールミーティング、タウンミーティングのさらなる充実を図り、保護者や市民・地域住民との意思疎通と信頼関係を構築し、可能なものから教育施策に反映します。

これまでに、熊本大学における36年にわたる教育・研究・管理運営に携わり、熊本市第6次総合計画の計画策定委員会や指定都市移行に際し区割り等を決めました熊本市行政区画等審議会にも参加させていただきました。このような経験も踏まえ、市民の皆様に、指定都市になって熊本市の教育が良くなったと思っていただけるように努力してまいります。

◆このコーナーでは、毎回、教育委員の教育に関する 思いや抱負を紹介します。